

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 旭松食品株式会社

上場取引所 大

コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木下 博隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 足立 恵

TEL 06-6306-4121

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,172	2.5	△132	—	△128	—	△144	—
21年3月期第1四半期	4,071	—	△221	—	△220	—	△94	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△15.76	—
21年3月期第1四半期	△10.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第1四半期	15,715		9,519		60.3	1,034.69
21年3月期	16,180		9,634		59.3	1,047.46

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 9,483百万円 21年3月期 9,601百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,500	2.4	△270	—	△270	—	△300	—	△32.73
通期	18,000	△0.2	80	—	80	—	20	—	2.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 9,382,943株 21年3月期 9,382,943株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 217,008株 21年3月期 216,307株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 9,165,935株 21年3月期第1四半期 9,171,500株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 上記の前提条件その他の関連する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間の売上高は、41億7千2百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。部門別には、納豆部門において市場の縮小及び販売競争が継続しており、販売価格の是正も実現できていないことから、売上高は13億1千3百万円（前年同四半期比10.4%減）と大きく減少いたしました。凍豆腐部門では前年同四半期連結会計期間は価格改定直後の買い控えがありましたが、当第1四半期連結会計期間は順調に推移したことから、売上高は10億6千8百万円（前年同四半期比8.6%増）と伸ばいたしました。加工食品部門においては春雨スープなどが順調に売上を伸ばし、売上高は13億2千万円（前年同四半期比16.7%増）と大きく増加いたしました。

利益面では、原材料等の市場価格は落ち着きましたが、高値で購入した在庫分の使用が続いており、売上原価の大きな低減には至りませんでした。固定費については継続的な圧縮に努めました結果、営業損失1億3千2百万円（前年同四半期は2億2千1百万円の損失）、経常損失1億2千8百万円（前年同四半期は2億2千万円の損失）となりました。なお、前第1四半期連結会計期間には保有有価証券の売却益を計上いたしました。当第1四半期連結会計期間には特別な利益計上はなく、四半期純損失は1億4千4百万円（前年同四半期は9千4百万円の損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

純資産が95億1千9百万円（前連結会計年度末に比べ1億1千5百万円の減少）となり、総資産が157億1千5百万円（前連結会計年度末に比べ4億6千5百万円の減少）となったため、自己資本比率は60.3%（前連結会計年度末に比べ1.0ポイントの増加）となりました。総資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少が5億5千7百万円あったことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における営業活動による現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増加は、4億6千9百万円であります。

資金の増加の主な要因は、税金等調整前四半期純損失1億3千万円があったものの、減価償却費2億3千2百万円や売上債権の減少が5億6千1百万円あったことによるものです。

また、前第1四半期連結会計期間に比べ資金の増加額が5億6百万円増加しております。この主な要因は、売上債権の増減差額1億8千8百万円、たな卸資産の増減差額1億6千2百万円などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における投資活動による資金の減少は、6千1百万円であります。

資金の減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出5千8百万円や、システム投資を中心とした無形固定資産の取得による支出6百万円によるものです。

また、前第1四半期連結会計期間に比べ資金の流出が1億1千2百万円減少しております。この主な

要因は、前第1四半期連結会計期間には投資有価証券の売却による収入1億1千6百万円がありましたものの、当第1四半期連結会計期間は設備投資の抑制により有形固定資産の取得による支出が2億3百万円減少したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動による資金の減少は、1億6千1百万円であります。

資金の減少の主な要因は、長期借入金の約定弁済9千6百万円や配当金の支払額4千万円によるものです。

また、前第1四半期連結会計期間に比べ資金の流出が2千3百万円減少しております。この主な要因は、1株当たりの配当金を3円減配した結果、配当金の支払額が2千7百万円減少したことによるものです。

以上により当第1四半期連結会計期間末における資金は前連結会計年度末に比べ2億4千6百万円増加し、14億3百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成21年5月14日に公表いたしました平成22年3月期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

原価差異の配賦方法

予定原価等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異のたな卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に行っております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度末時点で2期連続の営業損失を計上しており、当第1四半期連結会計期間においても営業損失となっているため、継続企業の前提に関する重要事象等の存在を解消すべく、引き続き以下の取り組みを行っております。

なお、文中における将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間末において当社グループが判断したものであります。

①原材料高騰への対応

原材料等の高騰による製造費用の増大により、当社グループの業績は大きな影響を受けました。このため、原材料の調達については、安心・安全を踏まえた上で安価購入の対応を進めてまいります。

また、単品損益管理を一層充実し、不採算製品の改廃スピードを向上させてまいります。

②コスト削減

固定費の削減として製造工場での勤務形態の変更により時間外労働を圧縮し、労務費の抑制を図ってまいります。

また、役員報酬や執行役員・幹部社員の報酬・給与の減額は継続とし、広告宣伝費・旅費交通費などの販売費及び一般管理費は一層の圧縮を図ってまいります。

③不採算部門の撤退

当社グループの主力部門は、凍豆腐、加工食品、納豆であります。新たな柱として新規の部門へも投資を行ってまいりました。当連結会計年度は短期的な利益の創出が困難なものにつきましては撤退又は一時、投資を凍結し既存部門への集中投資を行ってまいります。

④経営体制の刷新

上記の事業再生をスピーディに行うため本年4月1日に機構改革及び人事異動を行いました。

また、6月末には取締役の員数も減員しており、シンプルかつスピーディな経営活動を目指し業績の向上に努めてまいります。

⑤設備投資計画及び資金計画

当連結会計年度の設備投資計画につきましては大幅に抑制し、キャッシュ・フロー面での向上も併せて行ってまいります。その結果、新たな資金調達を行わず既存借入等の約定弁済を進め財務体質の強化を図ってまいります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,509,951	1,263,834
受取手形及び売掛金	2,728,101	3,285,136
たな卸資産	1,404,039	1,416,911
繰延税金資産	6,349	8,668
その他	158,042	214,254
貸倒引当金	△200	△300
流動資産合計	5,806,284	6,188,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,321,361	8,301,227
減価償却累計額	△5,353,258	△5,295,999
建物及び構築物(純額)	2,968,102	3,005,227
機械装置及び運搬具	12,834,497	12,823,335
減価償却累計額	△10,676,421	△10,582,792
機械装置及び運搬具(純額)	2,158,075	2,240,543
土地	3,312,449	3,312,449
リース資産	236,097	232,797
減価償却累計額	△112,643	△89,426
リース資産(純額)	123,454	143,371
建設仮勘定	23,310	7,091
その他	508,570	504,047
減価償却累計額	△422,334	△415,188
その他(純額)	86,235	88,858
有形固定資産合計	8,671,629	8,797,541
無形固定資産	412,079	441,458
投資その他の資産		
投資有価証券	702,810	627,437
長期貸付金	21,972	20,000
その他	92,063	97,295
投資その他の資産合計	816,846	744,732
固定資産合計	9,900,554	9,983,732
繰延資産		
開業費	8,252	8,683
繰延資産合計	8,252	8,683
資産合計	15,715,091	16,180,921

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,441,812	1,531,365
短期借入金	1,631,090	1,629,932
リース債務	73,574	85,708
未払金	991,155	1,190,489
未払法人税等	15,015	26,504
繰延税金負債	3,370	4,473
賞与引当金	56,234	60,034
設備関係支払手形	21,952	51,038
その他	256,688	182,783
流動負債合計	4,490,892	4,762,328
固定負債		
長期借入金	773,503	870,199
リース債務	54,704	62,688
繰延税金負債	235,149	208,698
退職給付引当金	631,755	632,568
その他	9,750	9,750
固定負債合計	1,704,863	1,783,904
負債合計	6,195,756	6,546,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	6,132,810	6,323,130
自己株式	△124,486	△124,149
株主資本合計	9,258,591	9,449,248
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	195,558	147,417
繰延ヘッジ損益	4,972	6,600
為替換算調整勘定	24,735	△1,572
評価・換算差額等合計	225,266	152,445
少数株主持分	35,476	32,993
純資産合計	9,519,335	9,634,687
負債純資産合計	15,715,091	16,180,921

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,071,250	4,172,534
売上原価	3,239,131	3,309,237
売上総利益	832,118	863,296
販売費及び一般管理費	1,053,795	996,270
営業損失(△)	△221,677	△132,973
営業外収益		
受取利息	468	249
受取配当金	7,959	4,292
受取賃貸料	611	611
受取技術料	1,520	1,078
為替差益	—	2,104
雑収入	4,149	6,215
営業外収益合計	14,709	14,551
営業外費用		
支払利息	7,449	9,529
為替差損	6,359	—
雑損失	120	136
営業外費用合計	13,929	9,666
経常損失(△)	△220,896	△128,088
特別利益		
投資有価証券売却益	93,396	—
固定資産売却益	472	583
貸倒引当戻入額	100	100
特別利益合計	93,968	683
特別損失		
固定資産売却損	536	—
固定資産除却損	9,101	2,913
投資有価証券評価損	1,189	170
特別損失合計	10,827	3,083
税金等調整前四半期純損失(△)	△137,755	△130,488
法人税、住民税及び事業税	13,399	12,119
法人税等調整額	△55,570	2,318
法人税等合計	△42,170	14,438
少数株主損失(△)	△1,008	△440
四半期純損失(△)	△94,576	△144,486

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△137,755	△130,488
減価償却費	237,604	232,011
開業費償却額	1,226	1,133
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△100	△100
賞与引当金の増減額(△は減少)	52,858	△3,800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,481	△812
受取利息及び受取配当金	△8,428	△4,541
支払利息	7,449	9,529
固定資産売却損益(△は益)	63	△583
固定資産除却損	9,101	2,913
投資有価証券売却損益(△は益)	△93,396	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,189	170
売上債権の増減額(△は増加)	372,533	561,076
未払金の増減額(△は減少)	△302,293	△214,191
たな卸資産の増減額(△は増加)	△145,628	16,750
仕入債務の増減額(△は減少)	16,910	△85,511
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,811	107,617
その他	△50,056	4,260
小計	△19,427	495,432
利息及び配当金の受取額	8,127	4,548
利息の支払額	△7,480	△9,627
法人税等の支払額	△17,538	△20,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	△36,319	469,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△262,015	△58,333
有形固定資産の売却による収入	3,783	852
無形固定資産の取得による支出	△32,162	△6,202
投資有価証券の取得による支出	△930	△951
投資有価証券の売却による収入	116,345	—
貸付金の回収による収入	2,691	3,049
その他	△1,399	△98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173,687	△61,684
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	40,000	—
短期借入金の返済による支出	△40,000	—
長期借入金の返済による支出	△89,979	△96,678
リース債務の返済による支出	△26,103	△23,524
自己株式の取得による支出	△140	△337
配当金の支払額	△68,508	△40,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,731	△161,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,661	△675
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△404,399	246,117
現金及び現金同等物の期首残高	1,581,947	1,157,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,177,547	1,403,737

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) セグメント情報
該当事項はありません。
- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。